

# これからの農業を考える

農業をめぐる環境が大きく変わる中で、農業を稼げる産業にすることは、地域の活力を創造するためにも不可欠です。この研修では農業の更なる成長に必要な、異業種連携による資源・技術・知見等の活用、ロボット技術やICTを活用したスマート農業の推進、生産・流通システムの高度化等について、講義や先進事例等を通して学び、これからの農業について考えます。

## 研修のポイント

- 日本農業の現状と課題について学びます。
- 魅力ある農業経営、最新技術の活用、他産業との連携による取組など、様々な視点から、農業をどのように活性化していくのか考察します。
- グループ討議を行い、戦略的に施策を企画・実施していく力を養います。

## 開催要領

### 日程

令和2年11月25日(水)～11月27日(金)(3日間)

### 場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

### 対象

- 農業振興に関わる市区町村等職員
- 農業委員会の委員・事務局職員
- 自治体と協働して農業振興を行うNPO職員、農業協同組合等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

### 募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

### 宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

### 経費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

### 申込期限

令和2年10月8日(木)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等の事情がございましたら、遠慮なくご相談ください。

### 申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

### 受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

### 事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

## 問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

11月

25日(水)

11:00~

**入寮受付・昼食**

12:30~

**開講・オリエンテーション**

13:00~15:35

**講義 日本農業の現状と行政支援の方向性**

東京農業大学国際食料情報学部 教授 堀部 篤 氏

新規就農や農地利用など、日本の農業の現状と、行政による地域農業の支援方策についてお話しいただきます。

15:50~17:00

**事例紹介 最新技術を活用した新しい農業**

AGRIST株式会社 取締役COO 高橋 慶彦 氏

農業就業者の減少や高齢化が続く中、ロボット技術やICT等の先端技術を活用し、省力化、効率化を可能にする新しい農業についてお話しいただきます。

17:30~

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

**事例紹介 農業と福祉の連携**

さんさん山城 施設長 新免 修 氏

障害者やひきこもりなど社会に生きづらさを抱えている人たちが農業分野で活躍し、自信や生きがいを持って社会に参画する「農福連携」の取組についてご紹介いただきます。

10:50~12:00

**事例紹介 宮代町農業担い手塾の取組**

埼玉県宮代町産業観光課 副課長 菅原 隆行 氏

宮代町独自の「新規就農里親制度」や、新規就農者支援委員会による組織としての支援体制など、新規就農に関する取組についてご紹介いただきます。

13:00~14:10

**事例紹介 農を基軸に観光と融合した六次産業化**

株式会社ザファーム 代表取締役社長 武田 泰明 氏

野菜の収穫体験、グランピング、天然温泉施設の運営など、農業と観光を組み合わせた六次産業化に関する取組についてご紹介いただきます。

14:25~17:00

**演習 グループ討議**

農業ジャーナリスト・明治大学農学部客員教授 榊田 みどり 氏

グループ討議を行い、各団体の状況や経験、知識、今後に向けたアイデア等を受講者間で共有し、発表の準備を行います。

17:00~

**課外演習**

9:25~12:00

**演習 発表・講評・まとめ**

農業ジャーナリスト・明治大学農学部客員教授 榊田 みどり 氏

討議結果を発表し、講師からの講評をいただくとともに、今後の地域農業振興と地域活性化に向け施策の企画・実施に向けどのような行動をとっていか考えます。

12:00~12:30

**ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

令和2年

11月

26日(木)

令和2年

11月

27日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。